（廿八日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭第一 第二日曜
定価（壹枚二錢、壹ヶ月（五十錢、郵稅十錢
廣告料（二行平錢指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社

〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕　昭和四年六月二十九日　磐城新聞　〔土曜日〕　第二千五百廿七十一號（一）

思想善導の第一義

水野あを

今日思想善導といふ事が云ひ古されてゐますが、これは今更らしく騒ぐべき事柄ではなく昔からさうなくてはならぬ事であり、その爲めの教育であつたのです。人間は唯一の寶である思想は人生最大の利器であつてこの人間最上の特徴である、思想の善導善用の必要は以上引例した點から考へても自明の理であらうと思ひます。

一國の文野は其の國民の思想を現す娯樂によつて觀察されるやうに、其人個人の思想は其の人の日常生活趣味娯樂を通じてよくうかゞはれなければなりません、こゝへ來て私共は家庭といふものにぶつかつてゆくのであります、思想的に家庭といふものが頽廢し

危機 にある時その家庭は破壞に陷るものと云はねばなりません、さうした家庭に育つ年若な子女が思想的に正しい成長を遂げる事の不可能なるは今更云ふまでもない事であります

こゝにおいて私は母親の力を信じたいのです、男子には女子の及ばない大きな力があるかもしれないが、しかし女性には生れつき献身的なものが潜在してゐる、それは云ふまでもなく母性愛で如何なる子供に對しても無條件の愛の力によつてその子の思想的方面を導き教へるの

血の氣といふものは全然なくなつて父の顏を仰いだ

慥いたことにはその時勇の眼に映つた大八の面には

たやうに言つた、そして妙にかすれた聲で續けた

「たい勇、夢の序でだから今日に前にに前の一身上の大秘密を教へてやらう、よツキリ知つて置いた方が都合良いだらうのう！」

と今度は嚇りに充ちた聲でいんになつた

「は……」

「先づに前も前後の事を愼重に考慮して大學生として詳しく自分の地位を知ればなほ一層感謝すべき餘地があるのを見出すかも知れん……」

「ほんとうに私達は感謝と負ふてゐるかも知れん……」

「事實貴樣は俺達に感謝を負ふてゐるといふのだな」

と大八は肩をそびやかして苦く笑つた

「ほう、貴樣は俺達に感謝

「は……」

「俺はこれまで貴樣の親と

私は日本の若い女性たちに先づ何よりも自己をいゝ立派な母親とすべく勉強し修養して欲しいと願ふのであります

※……明日の暦 五月 新月 六
※……吉凶 舊暦 二 三 暦 九 日

▲一白 不滿を抑へ逆らはず今日一日の安きを謀れ▲二黑 幸ひのみてる日にて内外共に可ならざるなし▲三碧 理想を棄り大に進出を圖らず緊張を大切に勵むべし▲七赤 勞多くして功少くとも決して倦むべからず▲八白 忠實に本分を守れば知らずしらず發展あり▲九紫 誇ひに乘らず家業專一と勵めば吉日なり

死を超ゆる者

小説

（23）

三上於菟吉作

布施平八郎畫

二十四年前（一）

と、大八もやつと決心したやうに言つた、そして妙にかすれた聲で續けた

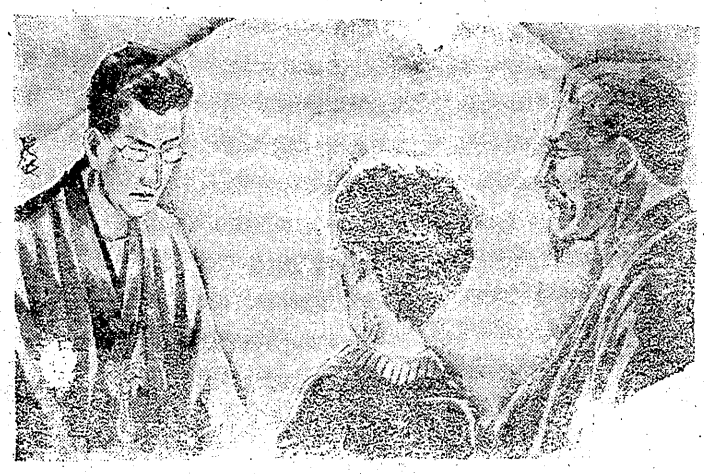
「たい勇、夢の序でだから今日に前にに前の一身上の大秘密を教へてやらう、よツキリ知つて置いた方が都合良いだらうのう！」

と今度は嚇りに充ちた聲で

「は……」

「先づに前も前後の事を愼重に考慮して大學生として詳しく自分の地位を知ればなほ一層感謝すべき餘地があるのを見出すかも知れん……」

「ほんとうに私達は感謝と



負ふてゐるかも知れん……」

「事實貴樣は俺達に感謝

「ほう、貴樣は俺達に感謝

と大八は肩をそびやかして苦く笑つた

「隨分甘い親達でも私達が勇にした樣な事は……」

醜く肥た實業家は暫く默した

「俺はこれまで貴樣の親と

◎夏衣陳列
粹な中形
着尺モスリン
名仙 單帶
其の他色々
どうぞ
御來店を
三丁目 龜田屋
龜田 電壱

吉田眼科醫院

◇二十八日替り◇
三大モダンナ名番組
日活京現代劇 東京超特作 新派連鎖劇 大戯
◆巨作 厚監督 宴響
主演 入江たか子 佐久間妙子 夏川靜江 瀧花久子
出演 築地小劇團 津島恵子 田村耕二 竹内良一 南部章三 横山運平
◆土・日曜學生デー 電四六六 平館

◆澤田清が完成せる（天保俠艶記）に對陣し松竹キネマが競作せる大名醫
主演……林長二郎 千早晶子
天保世相 天保悲劍錄 全
怪盜…妖婦…俠客…入亂れて凄慘なる天保年鑑の世相を赤裸々に描く 松竹全力傾注映畫

◆日活超特作連續時代名畫◆
雜誌（富士）連載名作
美男劍士 澤田清 全
最終篇 落花劍光錄 全
努力快作
櫻井京子 常盤操子 尾上華丈 澤蘭子 高瀬實 小松みどり 中村英雄 山本絹枝
助演……病床を蹴つて龍之助の行例に斬入つた銀が村正は血に狂ふて行く闇に叫ぶ怪しの聲は？

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は 三四三番
サシミ

營業種目
內地材 材木各種、羽柄材各種
建築諸材 請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達 其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話 三三五番

綠したゝる初夏!!
かるく涼しく 丈夫な白靴
△弊店獨特……白革底
自製品A……六、〇〇
B……七、〇〇
靴の御用は……形ト仕事ト
安價デ……確實な
平田町
大塚支店製靴部へ
電話七〇二番

ナツフク
小學生 中學生
一年生 八十錢 一年生 貳圓四十錢
二年生 九十錢 二年生 貳圓五十錢
三年生 一圓 三年生 貳圓卆五錢
四年生 一圓 十錢 四年生 貳圓半五錢
五年生 一圓貳十錢 五年生 貳圓卆五錢
平町四丁目停車場通
正札堂

醫藥學大家實驗證明せる
腎臟病 新藥 ネオ子フロン
急性及び慢性腎臟炎に服用して最も優秀なる効果顯著なり 價格 一圓五十錢、參圓、五圓
平町五丁目角
代理店 山野邊藥局
藥劑師 山野邊東次郎

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ措ニ御利用フダサイ
營業課目 勸業債券 兩替 復興債券 公債其他 金融 質物一般 取扱
多田井商店
平町大工町

診療時間 夜
胃腸 內科 專門部 十二指腸病 蟲病
梅毒 外科 專門部 淋病 婦人病 皮膚病
松村胃腸病醫院
（平南町電話一〇七番）

ヒゲタ醤油
平町田町
特約店 廣瀨支店
電話五四番

けふ本會で確定した 平町の戸數割賦課額

委員會の修正四百余圓

◇—三圓以上の增減者氏名

平町に於ける今年度特別戸數割額の前期分賦課總額は四萬七千七百六十五圓にして去る二十四日より委員會の手で調査中の處廿六日終了したが更に廿七日午前十時から役場内に（第一區）吉田五平、石山治三郎、馬目雅治（第二區）野崎滿藏、関内正一（第三區）佐藤岩次郎、馬目武之助（第四區）青沼錦太郎、猪狩庄平の各委員より特別委員會を開き審議の上終了し今二十八日午後一時より本會を開き委員長の報告あり委員會の修正通り可決確定したが委員會は見立割に於て約四百餘圓の修正を加へたが增減の重なるものを列記すれば左の如し

△增額の者（三圓以上）

三四〇 吉田直之助
五〇〇 大谷要次郎
一〇〇〇 草野史
三〇〇 伊坂昌正
三〇〇 江尻庄作
五〇〇 藤岡規
三〇〇 織田榮三郎
三〇〇 佐藤勝
五〇〇 海野辰之助
三〇〇 對馬竹松
三〇〇 渡邊傳三郎
五〇〇 山田勇太郎
五〇〇 大井川和郎
五〇〇 松崎房次郎
一〇〇〇 佐藤福太郎
三〇〇 石澤茂
三〇〇 鈴木甚藏
五〇〇 丸山ウメ
三〇〇 岩本重雄
五〇〇 內藏悌次
五〇〇 藤田榮助
三〇〇 高階一郎
三〇〇 白井一郎
三〇〇 鈴木要七
一〇〇〇 中野甲藏
二五〇〇 吉田由三郎
五〇〇 織田豊太郎
五〇〇 山田文一
一〇〇〇 小原壽八
三〇〇 渡邊貫
五〇〇 森下庄吉
五〇〇 谷口仁太郎
五〇〇 菅本庄治
五〇〇 中野庄吉
五〇〇 長瀬延太郎
五〇〇 大谷久藏
一〇〇〇 佐々木喜代治
五〇〇 小野伊佐治
一五〇〇 猪狩庄平
一〇〇〇 諸橋國松
一〇〇〇 松崎長太郎
一〇〇〇 木村寅次郎
一〇〇〇 永倉清次郎
五〇〇 齋藤繁藏
一〇〇〇 阿部治作
六〇〇 長谷川スヱ
五〇〇 草野七五三之助
五〇〇 吉田禮次郎
一五〇〇 石島一德齋
五五〇〇 丸山慶治
三〇〇 長谷川浩太郎

△減額の者（三圓以上）

三〇〇 山田初太郎
三〇〇 神谷亥三雄
三〇〇 藤沼平次郎
三〇〇 織田末松
五〇〇 鈴木オト
三〇〇 長谷川豊吉
五〇〇 關內彥太郎
三〇〇 山本孝平
五〇〇 鈴木勝藏
五〇〇 藤居勝武
三〇〇 馬目慶太郎
三〇〇 草野清治
三〇〇 大里金丸
四〇〇 叶多鉾治
五〇〇 端山正男
三〇〇 櫛田榮太郎
二〇〇〇 草野順平
五〇〇 鈴木比佐子
五〇〇 國府田直良
五〇〇 雜波睦
一五〇〇 上田耕作
五〇〇 明智淺吉
一〇〇〇 三井常松
五〇〇 田仲マキ
五〇〇 伊關房治
五〇〇 三森慶次郎
五〇〇 中野康平
五〇〇 鈴木銀次郎
五〇〇 梅原利三郎
五〇〇 三井富吉
三〇〇 松本愛藏
五〇〇 百澤易與
二四八六 平松武
一〇〇〇 諸橋久太郎
一〇〇〇 中野勇吉
五一〇 檜山謙
五〇〇 阿部政右エ門
五〇〇 江口忠一

炭燒小屋の異臭

腦溢血で佐市の末期 植田署一時吃驚

石城郡川部村大字沼部字白米富時勿來町居住星健吉發子製炭業佐市（三六）は三ヶ月前より川部村字瀬戸山林內に小屋を造り炭燒をなしてゐたが毎日一回米取りに來る佐市が二十五日頃よりピツたりに來ないので家人は不審を抱き二十七日小屋に來て見ると異樣な臭氣を發し佐市は死体となつて倒れてゐるので驚ろき急報に接した植田署で檢死の結果作業中腦溢血を起して死亡したものと判明した

簡易保險 加入者福音

保險局で制定

平局では簡易保險の募集に相當ノ成績を收めてゐるが今回簡易保險局では新らしい試みとして簡易保險に加入後被保險者が何等かの傷害によつて

一、兩手を失つた場合
二、兩足を失つた場合
三、片手及片足を失つた場合
四、兩眼を盲した場合

將來保險料の拂込みを免除する制度を設け今日まで其の數百十餘件に及んでゐる併し之が適用方に付いて不公平な結果を招來することがあるので今囘この缺點を除くため之が適用を契約者が郵便局へ廢疾認請求書を差し出した日以降の保險料の拂込みを免除することに改めた

ことし流行する 中元の贈答品

タオル玩具その他 平町の物價調べ

平町地方は慣習の久しきに依りそろ〳〵中元贈答の季節となつたが今年格好の贈答品を市內の

各商店について聞く

と氷セットが一圓五十錢から二圓三十錢まで、果物セット（大鉢、取分皿、ナイフ、フォーク揃ひ）が五圓五十錢以上、その他番茶（三圓卅錢から十圓）コーヒー（五圓五十錢以上）水呑（一圓六十五錢から二圓六十錢）等々、いろ〳〵出來てゐますが最も一般向きとしてはやはりありきたりのもので

團扇や扇 これは三本一組一圓五十錢位、それから食料品の組合せ、即ち洋酒を取り合せたものや、果物の箱入りなどがあり、洋酒は五圓位から十圓、廿圓卅圓と幾種類もあり、果物は三圓位から廿圓まであり、その他乾魚の精製品を取そろへたもので三圓前後、ノりを萬人向きです。それから極く手輕で普通つかはれますのではハンカチーフが半打五十錢位からいろ〳〵あり、本麻にすると半打入三圓五十錢からあります

タオルは 三本入六十錢から一圓、半打入一圓十錢から二圓、一打入二圓五十錢から三圓くらゐあります、浴衣地羽織地着尺等も向き〳〵で重寶なものでせう、その他お友達とか親しい間柄の家庭などでは先方の事情をくんで思ひ〳〵のものを贈る事が出來ませう、子供向きには文房具や

玩具類等 いろ〳〵種類がありますが、子供用のブツクエンドがなか〳〵喜ばれてゐます。動物の圖などを豁いたりくり拔いたりした本立で五六十錢程度です

私の精神的仕事（三）

松村孤人

人間の精神は元來大海やうなものでなんでもとる力をもつてゐる。しかし同化出來ないものは忘却の底にしづめてしまふそして人間のお互の精神には共通があり、お互に得たものを分けあふ性質をもつてゐる感心したものをよめばすぐそれを友に知らせたくなるそして同感なことを云つてゐるもの、自分が同化する力があり、同化することによつて自分の水量がますものにあふと人間はよろこぶやうに出來てゐる

文學は元來、この性質から生れたものである他の動機から生れたものではない文學に時代性があり社會性があると云ふことは當然であるが、それ以上に人間的な處がある。ある時代ある社會に生れたものはその時代その社會の習慣風俗をとりいれその時代の思潮の影響をうけてゐるしかしそれ等のものを受けることでなほ本心が生れる處が面白いのだ。

たとへば松がある崖にはねそれで海風にあたつたり土地の影響をうけたりして逆さになつたりねぢれたりして大きくなつたとするしかし松は松であり松の面白さが益々發揮されるところにその姿の面白味が現れる內からの生命と外からの力の關係が一箇の松の姿を通して現れる處が面白い

ある時代の文學は他の時代の文學と思想上には共通な所をごく少し切りもたないかも知れない。しかし其處に人間の本心が生きてゐると、その人間の本心さを見て時代の風潮を見ることも出來反つて面白くもなる人間の本心が出てゐない文學は時代と共に亡びるのはやむを得ない。その時代を研究する材料にはなつても人間の本心の食物にはならないで

文學の性質はその時代で一番者が精神的に缺乏してゐる部分を補ふ性質をもつてゐる、物質が輕蔑されてゐる時物質の價値をとくのは最初は文學者であるのが普通であり、精神が侮辱されてゐる場合精神の眞價を要求するのは又文學者でなければならない。

人間が精神的に走りすぎるのはまちがひである人間はたしかに物質必要としてゐる。精神も物質のあらはれにすぎないと云ひたい程だ。だが精神を侮辱するのもまちがひだ。物質は精神を生かすために必要なので精神を失つた物質は人間ではないからそして精神は內から生れるもので外から之に影響することは出來るが內からあふれるのをとめることは出來ない。精神がつまり道をつくるのだすべての運動は精神が生きようとする運動と見ることも出來るのだ。物質がいろ〳〵の關係でそれの生きるのをさまたげようとするが精神はかつて死なゝいのだ。少くも人間のある所精神は存在し精神の存在する處自己を精神の要求通り生かさうとするのは勢ひの當然である精神の力は弱いやうで強い。人類の進歩文明の進歩はすべて人間の精神が生み出したものだ。それは偶然發明されたものにしろ人間の精神が加味されてないものはない。

しかしその內でも最も精神的な仕事の一つは文學である。そして文學の值打は又其處にあるのだ

だからいくらいゝ經驗をもつてゐても心の動きのないものは文學にはならないしいゝ文學とは云へない文學の良さはかくものゝ心の良さできまるたゞその心のよさが十分文學になつて現れるか、現れないかで技巧が問題なら貧弱な心の持ちぬしからは貧弱な文學切りうまれないだから文學をやることは恐ろしいのだ。

養蠶技術員

あす郡衙で協議

石城郡內養蠶技術員會は二十九日午後一時から平町元郡役所會議室に於て開催されるが協議事項は左の如くである

△協議事項

一、桑園病虫害防除の件
一、桑園害虫驅除講話會の件
一、夏秋蠶專用桑園設置奬勵の件
一、夏秋蠶作柄安定の件
一、指導桑園設置奬勵の件
一、上簇改良督勵の件
一、養蠶敎師設置の件
一、繭共同出荷奬勵の件
一、屑物整理講習會の件

平水道工事 擴張認可

八月から認可

平町上水道擴張工事施行認可を得るため香野水道課長は過般上京してその筋と運動をなし其後柴田主任技師は二十一日上京認可促進の運動をなした結果去る二十六日漸く土木局長の手から縣地方課まで認可の指令が廻送されたので七月十日ころには平町に指令が到達する見込であり町當局では總ての計劃通り直ちに着工を開始することになつた

蓮沼氏上京

本社副社長蓮沼龍輔氏は二十八日午前五時[illegible]發にて上京三十日朝歸平の豫定

山間方部の 青田が渇水

稻は枯死

石城郡地方の田植は漸く終つたが例年水不足の泉、上遠野、入遠野方面の山間地は梅雨期と云つても雨の影さへない連日の炎天續きに漸く苗付けはしたものの青田は全く渇水し龜裂を生じ苗は枯死に瀕してゐるので村民は目下動力揚水機で灌漑し辛じて窮狀をしのんでゐるがこのまゝ降雨の無い限りは全く枯死する模樣なので各農民は憂慮してゐる尚上遠野村二十四町歩餘は全然水がなく未だ植付は不能である

飼馬に振落され 野良男即死

きのう川部村で

石城郡川部村字小川農蛭田熊太郎（四八）は二十七日午後二時半頃ホロ醉氣嫌で自家の飼馬に跨り鼻唄交りに同村三澤字中畑地內縣道橋上まで來るや突然犬が吠へ出しこれに驚いた馬は阿修羅の如く暴れ出し馬上の熊太郎は醉ひ氣分も何處へやら夢中になつてしがみ付いてゐたが一丈餘の橋上から砂利地に振り落され頭部顏部に毆打傷を負ひ即死してゐるを通行人が發見し植田署で二十七日檢死の上死体は家人に引渡した

立候補者二十名

政民各十名を立てて あす植田町議選

石城郡植田町會選擧はいよ〳〵明二十九日執行される事となり運動は白熱化して來た折柄突如政友派から鈴木海氏が立候補屆出をなしたので政民各十名の都合二十名となり一名の落選者を出す事となつた

平支所長着任

坪之松氏の後任として平刑務支所長に着任した看守長本庄吉助氏は二十八日市內に着任の挨拶をなした

第二回農事 質疑應答會

草野村で

石城郡農會主催草野神谷聯合苗代品評會褒賞授與式は來る七月七日午前九時より草野村公會堂に於て擧行されるが終つて午前十時より過般第一回として高久村で試みた農事質疑大會を開催する事になつたが之は第一回に於て非常に有益なものとして好評を博し各農村ではこの會開催を引つ張り合ひの有樣である質問の應答者は郡農會大山技師外三氏農事試驗石城分場稻田技師外二氏郡養蠶同業組合栗田技師畜産組合上川技手其の他で農事百般に亘り應答する筈である

平町人事

△出生

△平町大町六機械商木田四長郎男悟郎（六月八日）

△死亡

△平町新川町二馬場元光

勿來特信

選擧餘談

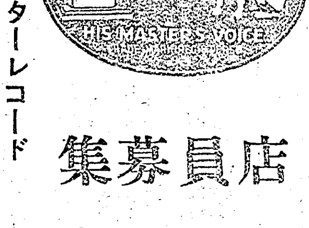
大平に睦が四郎と僕の姓名だ！騷ぐのは大嫌ひ、町村自治に政爭などは恐の骨頂さ……と語る町長大平睦四郎君を持つ郡南勿來町は來月四日の町會選擧切迫と共に暗中飛躍中であるが政爭と云ふよりも婿樣派と勿來生ひ拔きの倅黨との暗鬪である婿樣派は總師に大平町長を筆頭に町會の大半を占め殆んど町の牛耳は御婿殿ばかりである、縣議とも未來の町長もに擬さるゝ酒造家の赤津修一氏が婿派に魁して名乘りを擧げ養雞組合長で繭市場の專務で軍人分會長の小松章氏が再起し豫備少尉橫山太一君も町政刷新を標傍して出馬し常磐自働車の靑天目信次郎君や篤農家の平山篤君等何れを見ても天晴れ三國一のむこ樣揃ひ、小糠三升のむこのくせにとむこ樣派の向を張つて雄々しく立つたのが來るべき縣議であり町長となる消防組頭の赤津庄兵衛君を初め園部里次、小野七三郎、下山田甚次兵衛君等の再起組と中野新藏、安島久、兒玉富八君等の新顏を加へてむこ樣派を破らんと關ヶ原の頂きに立つて勝負は愈々來月四日、松尾山に陣を取る金吾中納言秀秋もハテ結果や如何（林生）

植田町會議員候補者
古川傳一
渡邊義一
植田町會第一の力有候補者として推薦し極力其の當選を期す奮つて御聲援下さる樣お願ひ申上ます
植田町民有志
責任者 平町田町 坂本浩

植田町會議員
候補者 小宮山菅吉
植田町會議員
候補者 鈴木林平
右最適任者と認め推薦す奮つて御同情のほど懇願いたします
平町仲町三番地
星敏夫

コラノスケ 粕取燒酎 （六月一日ヨリ發賣）
二合白瓶一本 二十五錢
（從ヶ通り空瓶交換仕可候）
平町四丁目驛通り
永山酒造店總發賣元
電話一〇七番

外科一般 （入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

レコードハ
此のマーク！を


店員募集
肉聲のビクターレコード
販賣店 會田時計店
平町四丁目（電話三六三番）